

平成 29 年度（2017 年度）

京都市立芸術大学 音楽学部

入 学 試 験 問 題

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

目 次

第一次試験

作曲専攻	1
指揮専攻	7
ピアノ専攻	8
弦楽専攻	9
管・打楽専攻	12
声楽専攻	15
音楽学専攻	16

第二次試験

音楽通論	20
聴音書取（旋律聴音）	26
聴音書取（和声聴音）	27
新曲視唱	28
コールユーブンゲン視唱（声楽専攻のみ）	29
ピアノ新曲視奏（ピアノ専攻のみ）	30
副科ピアノ演奏（ピアノ専攻以外）	32

第一次試験

作曲専攻

(第1日) 和声法：A ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ、4声体とすること。

B バス課題：与えられたバスに和声をつけ、4声体とすること。

両課題とも記譜は次の a 又は b のいずれかを選択すること。

a ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。

b ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

実施例 (a,b による記譜) は別記のとおり。試験時間各 2 時間 30 分

作品提出：自作品を 1 曲以上、試験当日に提出すること。(コピー譜を提出のこと。提出された作品は返却しない。)

(第2日) 二声対位法：与えられた全音符の定旋律に、対旋律をつくる。試験時間 3 時間

対旋律は、2 分音符、4 分音符、8 分音符と移勢 (シンコペーション) を含む、いわゆる自由 (華麗) 対旋律によるものとする。

解答は、次の 1～6 の 6 通りが必要である。

1：定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。

2：定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。

3：定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。

4：定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。

5：定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。

6：定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜移調してもよい。

記譜は a 又は b のいずれかを選択すること。

a：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

実施例 (a による記譜) は別記のとおり。

(第3日) 作曲：与えられた素材により器楽曲を作曲すること。試験時間 4 時間 30 分

(第4日) 面接を行う。

◎作曲専攻 (第1日) 和声法の実施例

* 課題 {過去の出題 (ソプラノ課題) より冒頭 2 小節}



* 記譜 a による実施例

Andante (♩=72 ca.)

◎作曲専攻（第2日）二声対位法の実施例

* 記譜 a による実施例

定旋律

実施例

平成29年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第一日：和声法（ソプラノ課題）

■ 次のソプラノの旋律に和声をつけ、四声体になさい。

記譜は、a. またはb. のいずれかを選択する。

a : ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b : ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 2時間30分）

Allegretto

Handwritten musical score for Soprano in G major, 2/4 time, Allegretto. The score consists of four staves. The first staff begins with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a 2/4 time signature. It contains a melody starting on G4, with dynamics *mf* and a triplet of eighth notes. The second staff continues the melody with various intervals and dynamics, including a triplet of eighth notes. The third staff features a descending melodic line with dynamics *f* and *f sempre*. The fourth staff concludes the piece with a final cadence and a forte (*f*) dynamic marking.

平成29年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第一日：和声法（バス課題）

■ 次のバスの旋律に和声をつけ、四声体にしなさい。

記譜は、a. またはb. のいずれかを選択する。

a : ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b : ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 2時間30分）

Larghetto (♩ = 60 ca.)

平成29年度

京都市立芸術大学音楽学部入学試験

作曲専攻・第二日：対位法

■ 次の全音符の定旋律に、対旋律を1つ作り、二声体としなさい。

対旋律は、二分音符、四分音符、八分音符と移勢（シンコペーション）を含む、いわゆる自由（華麗）対旋律によるものとする。

解答は、次の1－6の6通りが必要である。

- 1：定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。
- 2：定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。
- 3：定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。
- 4：定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。
- 5：定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。
- 6：定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜に移調してもよい。

記譜は、a. またはb. のいずれかを選択すること。

a：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

（試験時間 3時間）



平成 29 年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験
作曲専攻・第三日・作曲

- ◆次の 5 つの音（異名同音も可）のみを用いて、テーマ（主題）もしくは
モティーフ（動機）を作り、それをもとに器楽曲を作曲しなさい。
なお、同じ音を 2 回以上用いてもかまわない。また、音域は自由とする。

（試験時間 4 時間 30 分）

cis, e, fis, g, h

第一次試験

指揮専攻

- (第1日) 1 下記の楽曲を指揮すること。全楽章の中から当日、演奏部分を指定する。(演奏はピアノによるものとする。)
- (ア) L. v. Beethoven : 交響曲 第7番 イ長調 作品92
- (イ) F. Schubert : 交響曲 第7番 ロ短調「未完成」 D.759
- いずれも全楽章。楽譜の出版社は自由とする。
- 2 当日提示する楽曲による総譜視奏(スコアリーディング)
- (ア) L. v. Beethoven : 交響曲 第7番 イ長調 作品92の第2楽章の総譜(スコア)を見てピアノで演奏すること。
- (イ) 初見視奏(ソプラノ記号, アルト記号, テノール記号を含む場合がある。)
- 3 既に習得しているピアノ以外の楽器(弦楽器, 管打楽器, ハープのうちいずれか1つ)若しくは声楽を演奏すること。その場合, 楽器は各自持参すること。ただし, コントラバスについては, 楽器を持参できない場合は, 本学で用意するので, 楽器を持参するか否かを願書に記入すること。マリンバについては, 本学で用意する楽器を使用すること。なお, すべて無伴奏とし, 演奏曲目を願書に明記すること。
- 4 和声法: 与えられたソプラノとバスの旋律に和声をつけ, 4声体とすること。
(記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間3時間
- (第2日) 面接を行う。

ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

(第1日) 1 ロマン派以降の作品から、練習曲以外の任意に選んだ作品。

(第2日) 2 F. Chopin：練習曲作品 10 及び作品 25 から任意の 2 曲を選択し、第 1 日目に、本人による抽選で、演奏する 1 曲を決定する。

3 J. Haydn 又は M. Clementi 又は W. A. Mozart 又は L. v. Beethoven の、任意のソナター曲全楽章を選択し、第 1 日目に本人による抽選で、演奏する（1 つの、あるいは複数の）楽章を決定する。

※注意 (1) いずれも暗譜演奏すること。

(2) 繰り返しは自由。但し、ソナタ形式の提示部については繰り返ししないこと。

(3) 演奏するすべての曲の作曲者、作品番号、楽章、調名を願書に明記すること。

(4) 1 については 7 分以上 12 分程度までとする。

(5) 1 については、変奏曲の抜粋は認めない。

(6) 2 について、以下の曲は除く。

作品 10 から 3, 6, 9 作品 25 から 1, 2, 7

(7) 2 について、作品番号にかかわらず 2 曲を選択することも可。

(例：10-1 10-2 あるいは 25-4 25-5 あるいは 10-1 25-4)

(8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- ※注意 (1) 選択した曲目及び調名を願書に明記すること。
 (2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
 (3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かを願書に記入すること。
 (4) 時間の都合上カットすることがある。

*ヴァイオリン

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただし Lalo のスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。

M. Bruch : 協奏曲 第1番 ト短調 作品26

A. Dvořák : 協奏曲 イ短調 作品53

(Adagio ma non troppo から Finale の前までを第2楽章とする。)

E. Lalo : スペイン交響曲 ニ短調 作品21

F. Mendelssohn : 協奏曲 ホ短調 作品64

N. Paganini : 協奏曲 第1番 ニ長調 作品6

(オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)

C. Saint-Saëns : 協奏曲 第3番 ロ短調 作品61

J. Sibelius : 協奏曲 ニ短調 作品47

P. Tchaikovsky : 協奏曲 ニ長調 作品35

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Vieuxtemps : 協奏曲 第4番 ニ短調 作品31

H. Vieuxtemps : 協奏曲 第5番 イ短調 作品37

(カデンツァはなし。Adagio から Allegro con fuoco の前までを第2楽章とする。)

H. Wieniawsky : 協奏曲 第1番 嬰へ短調 作品14

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Wieniawsky : 協奏曲 第2番 ニ短調 作品22

(第2日) 1 C. Flesch : Scale System より No.5, 6, 7, 8, 9, 10 ただし No.6 ~ No.9 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6, 7, 8, 9, 10 は4分音符単位(16分音符4個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は No.5 はメトロノームで4分音符 = 80以上, No.6 ~ 10 は8分音符 = 60以上で演奏すること。

2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

P. Rode : 24Caprices

J. Dont : Etüden und Capricen 作品35

N. Paganini : 24Caprices 作品1 (ただし17番冒頭及び24番の繰り返しはすること。)

＊ヴィオラ

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz:協奏曲 ニ長調 作品1 第1楽章及び第2楽章(版は自由とする。カデンツァを除く。)

J. Christian Bach:協奏曲 ハ短調 第2楽章及び第3楽章 (SALABERT 版を使用すること。カデンツァを含む。)

A. Hoffmeister:協奏曲 ニ長調 第1楽章及び第2楽章(IMC 版を使用すること。カデンツァを除く。)

C. M. v. Weber: Andante e Hungarian Rondo (IMC 版を使用すること。)

M. Reger: Suite 作品131d No.1 第1楽章及び終楽章

G. Enesco: Concert piece

(第2日) 1 C. Flesch: Scale System より No.5, 6, 7, 8

ただし No.6, 7, 8 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6, 7, 8 は8分音符単位(16分音符2個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は任意である。

2 B. Campagnoli: 41 Caprices 作品22より任意の1曲を選択し演奏すること。(版は自由とする。)

＊チェロ

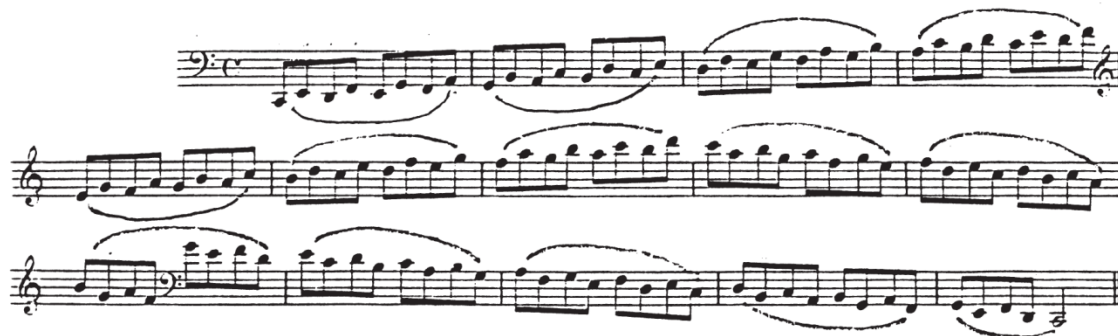
(第1日) C. Saint-Saëns:協奏曲 第1番 イ短調 作品33より第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 J. Loeb の Gammes et arpèges (Billaudot 版)を参照のうえ、ホ長調による下記(a)から(f)までの課題を演奏すること。

(a) 4オクターヴにわたる単音の音階(スラーは1弓8音♪=100以上)

(b) 4オクターヴにわたる単音分散3度の音階(スラーは1弓8音♪=100以上)

ハ長調の例



(c) 4オクターヴにわたるアルペジオ(スラーは1弓6音♪=60以上)

(d) 2オクターヴにわたる重音3度の音階(スラーは自由♪=80以上)

(e) 2オクターヴにわたる重音6度の音階(スラーは自由♪=80以上)

(f) 1オクターヴにわたる重音8度の音階(スラーは自由♪=80以上)

(注) (d) (e) (f) の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。

2 J. Duport: Etudes より第13番ホ短調を演奏すること。試験当日の演奏時間は5分までとする。

※上記全ての課題曲の版は自由とする。

第一次試験

＊コントラバス

(第1日) 任意ソナタの第1楽章及び第2楽章又は協奏曲の第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 下記 (a) ～ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。(速度は自由)

2 J. Hrabě : 86 Etudes 第1巻より第17番 Andantino を演奏すること。

(a)



(b)



(c)



(d)



管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- ※注意 (1) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること。(繰り返しはしない。)
(2) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
(3) 時間の都合上カットすることがある。

＊フルート

- (第1日) E. Köhler : 12 Medium Difficult Exercises 作品33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲(版の指定なし。)
(第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 (K6. 285C) 第1楽章(カデンツァを除く。)

＊オーボエ

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot 版) より第1番, 第3番, 第5番, 第10番, 第12番, 第13番, 第16番, 第18番, 第22番, 第27番の中から当日指定する曲
(第2日) J. Haydn : 協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg : C1 第1, 第2楽章 (Breitkopf 版)

＊クラリネット

- (第1日) 1 R. Eichler : Scales for Clarinet の各調1・2番をレガート, スタッカートで演奏すること。
(当日指定する調を演奏すること。)
2 C. Rose : 32 Etudes (Alphonse Leduc 版) より第8番, 第9番, 第13番, 第14番, 第18番, 第19番, 第21番, 第26番, 第28番, 第31番の中から当日指定する曲。
(第2日) Carl Maria von Weber : Concertino Es-Dur 作品26

＊ファゴット

- (第1日) J. Weissenborn : Fagott Studien 作品8第2巻より第1番から第15番までのの中から当日指定する曲(繰り返しなし, 版の指定なし)
(第2日) G. P. Telemann : Sonata f-moll 第1楽章, 第4楽章(版の指定なし。)

＊サクソフォン

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones (Alphonse Leduc 版) より第5番, 第8番, 第9番, 第11番, 第12番, 第18番, 第21番, 第26番, 第27番, 第30番の中から当日指定する曲
(第2日) A. Grazounov : Concerto en mi bémol (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号第16番まで演奏すること。

＊ホルン

- (第1日) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies (C. Fischer 版, 繰り返しなし) より第7番, 第12番, 第13番, 第15番, 第16番, 第19番, 第23番, 第25番, 第27番, 第28番の中から当日指定する曲
(第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第4番 変ホ長調 KV. 495 全楽章より当日指定(ただし第3楽章は第99小節目まで, カデンツァなし)

＊トランペット

- (第1日) 1 E. F. Goldman : Practical Studies for the Trumpet より第19番 Cadenzas の中から当日指定する曲 (C. Fischer 版)
2 OSKAR BOEHME : 24 MELODIC STUDIES in all tonalities Opus20 より第5番～第16番の中から当日指定する曲
なお、曲を演奏する前に、それぞれの調の音階を最初はテヌートで、リピート後は最後の分散和音までスタッカートで演奏すること。
- (第2日) G. Alary : Morceau de Concours

※楽譜の入手が困難な場合は、連携推進課入試担当にお問い合わせ下さい。

＊トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第10番, 第13番, 第15番, 第17番, 第19番, 第21番, 第22番, 第25番, 第31番, 第40番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし)
- (第2日) F. David : Konzertino 変ホ長調 Op.4 第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

＊バス・トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第11番, 第13番, 第18番, 第22番, 第25番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし。オクターブで両方書かれている箇所は低い音域を演奏する)
Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) より
第6番, 第10番, 第16番の中から当日指定する曲
- (第2日) F. David : Konzertino 変ロ長調第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

＊チューバ

- (第1日) 1 C. Kopprasch : 60 Selected Studies より第5番, 第7番, 第8番, 第9番, 第10番, 第11番, 第12番, 第13番, 第14番, 第15番の中から当日指定する曲
2 M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies より第2番～第10番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版) より第1楽章, 第2楽章, 第4楽章

*打 楽 器

打楽器 (A), 打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A, B いずれを選択したか, また A については選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏, 座奏いずれも可。両日とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器 (A)

(第 1 日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drum より 47 ページ < Roll exercise in 4/4 II >, 48 ~ 49 ページ < Etude in 6/8 > の中から当日指定する曲

(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より, 第 25 番, 第 28 番, 第 29 番, 第 30 番の中から当日指定する曲

(ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し, 本学で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。

J. S. Bach : ソナタ 第 1 番 ト短調 BWV1001

J. S. Bach : パルティータ 第 1 番 ロ短調 BWV1002

J. S. Bach : ソナタ 第 2 番 イ短調 BWV1003

J. S. Bach : パルティータ 第 2 番 ニ短調 BWV1004 より Ciaccona

J. S. Bach : ソナタ 第 3 番 ハ長調 BWV1005

J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

打楽器 (B)

(第 1 日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drum より 47 ページ < Roll exercise in 4/4 II >, 48 ~ 49 ページ < Etude in 6/8 > の中から当日指定する曲

(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より, 第 25 番, 第 28 番, 第 29 番, 第 30 番の中から当日指定する曲

(ウ) Siegfried Fink : Trommel-Suite より Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)

(エ) J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006 より Bourée Gigue (本学で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

声乐専攻

(第1日) 自由曲：歌曲あるいはアリア1曲（宗教曲も含む）。演奏時間は4分程度とする。ただし、課題曲以外のものを選ぶこと。

(第2日) 課題曲：下記の15曲の中から各自4曲を選ぶこと。その中から当日2曲を指定する。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) G. G. Carissimi | Vittoria, mio core ! |
| (2) A. Scarlatti | Già il sole dal Gange |
| (3) A. Scarlatti | Le violette |
| (4) F. Gasparini | Lasciar d'amarti |
| (5) A. Caldara | Sebben, crudele |
| (6) B. Bononcini | Per la gloria d'adorarvi |
| (7) G. Paisiello | Nel cor più non mi sento |
| (8) G. Caccini | Tu ch'hai le penne, Amore |
| (9) M. A. Cesti | Intorno all'idol mio |
| (10) V. Bellini | Il fervido desiderio |
| (11) S. Donaudy | O del mio amato ben |
| (12) F. Schubert | An die Musik |
| (13) R. Schumann | Widmung |
| (14) 山田 耕作 | かやの木山 |
| (15) 中田 喜直 | 風の子供 |

- ※注意
- (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。
 - (2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。
 - (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として移調されて歌われるものはその限りではない。
 - (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性を願書に明記すること。（提出後の調性の変更は認めない。）
 - (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
 - (6) 伴奏者は、両日とも本学において準備するので、同伴しないこと。

音楽学専攻

平成29年度（2017年度）
京都市立芸術大学音楽学部入学試験問題
音楽学 英語

I. 次の文章を読んで設問に答えなさい。＊答えは解答用紙に書くこと。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：(Dorothea E Hast and Stanley Scott. *Music in Ireland*. New York: Oxford University Press, 2004.)

1. 空所（ 1 ）を埋めるのもっとも適切な語を次から選んで、その記号を書きなさい。
a. custom b. system c. entertainment d. wedding
2. 空所（ 2 ）を埋めるのもっとも適切な単語を書きなさい。
3. 空所（ 3 ）を埋めるのもっとも適切な語を次から選んで、その記号を書きなさい。
a. at b. during c. over d. in
4. 下線①の文を日本語に訳しなさい。
5. 空所（ 4 ）を埋めるのもっとも適切な語を次から選んで、その記号を書きなさい。
a. travelers b. emigrants c. tourists d. musicians

II. 次の文章を読んで設問に英語で答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典： (Justin Worland. “The Future of Zoos” *TIME*, Vol. 189, No. 7-8, 2017)

1. Why did Woodland Park Zoo close the elephant exhibit?
2. What do you think of Jon Coe’s opinion about the zoo?
3. What do you think the future of zoos will be?
(字数に制限はありません。)

Ⅲ. 次の英文をすべて日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により，出典のみを記載しています。

出典：David B. Knight, *Landscapes in Music: Space, Place, and Time in the World's Great Music*
(Lanham: Rowman & Littlefield, 2006), p. 4.

平成29年度（2017年度）
京都市立芸術大学音楽学部入学試験問題
音楽学 小論文

音楽を聴くという体験と、他の芸術ジャンル（たとえば絵画、彫刻、建築、詩、演劇など）を鑑賞するという体験は、本質的に異なるものだろうか、それとも共通する部分があるだろうか。あなた自身の経験もふまえて自由に論じなさい。

平成 29 年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

音楽通論 問題用紙

- I. 譜例 1 を見て、以下の問いに答えなさい。(計 48 点)
- (1) ㉔～㉖の音程と同じ音程を形成する音を、解答用紙に示された音の上書き入れなさい。ただし複音程は単音程になおすこと (3 点×6)
 - (2) ①～⑨の楽語の意味を書きなさい。(2 点×9)
 - (3) ⑦の楽語を、省略していない形で書きなさい。(2 点)
 - (4) 線で囲んだ部分を長三度上に移調して、調号を用いずに書きなさい。(10 点)
- II. 譜例 2 を見て、以下の問いに答えなさい。(計 52 点)
- (1) ①～④で示された部分の調をドイツ語で書きなさい。(3 点×4)
 - (2) 次の設問の□にあてはまる番号を、(1)の①～④から選んで書き入れなさい。(3 点×6)
 - a. ㉔の和音を下屬和音とする調は、□の平行調である。
 - b. ㉕の和音の構成音をすべて含む調は□である。ただし短調の場合は和声的短音階で考えるものとする。
 - c. ㉖の和音をⅡの和音とする調は、□の同主調である。
 - d. ㉗の和音の根音を導音とする短調は、□の下屬調である。
 - e. ㉘の和音の第三音を自然短音階の第七音とする短調は、□の属調である。
 - f. ㉙の和音の構成音すべてを音階固有音に含む長調の導音は、□の下屬音である。
 - (3) ㉚の和音の構成音すべてを音階固有音に含む短調の下屬調の主要三和音と旋律的短音階の上行形・下行形を、解答用紙の譜表に調号を用いずに書きなさい。(3 点×2)
 - (4) ㉛～㉞の音程の転回音程を例にならって書きなさい。なお複音程は単音程に直すものとする。(例：長 3 度) (2 点×8)

譜例 1

Adagio ①

f *energico* ②

③ *con Ped.* *molto pesante, non troppo legato* ④

sempre pesante

Red.

⑤ *largamente*

ff

⑥ *precipitando*

m.s.

m.d.

⑦ *m.s.*

sfz

m.s.

Red.

⑧ *Vivo*

ff *espressivo* ⑨

m.s.

Red.

譜例 2

136

fz *fz* *cresc.* *cresc.* *cresc.*

①

141

fz *p* *p* *p(p)* *pp* *(pp)* *pp*

②

145

dim. *dim.*

150

ff *ff* *ff* *ff*

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

第二次試験

154

cresc.
(*cresc.*)
(*cresc.*)

③

158

ff
ff
ff
(*ff*)

④

162

pp
pp
pp
pp

dim.

⑤

166

a tempo
f
f
f

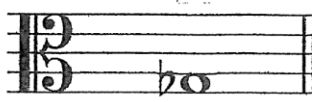
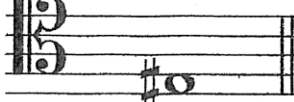
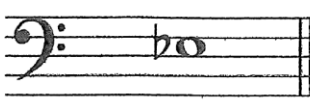
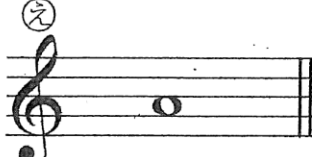
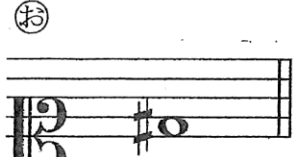
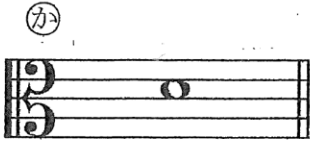
⑥

平成 29 年度
京都市立芸術大学音楽学部入学試験

音楽通論 解答用紙

受験番号

I (1)

あ 	い 	う 
え 	お 	か 

(2) ①

②

③

④

⑤

⑥

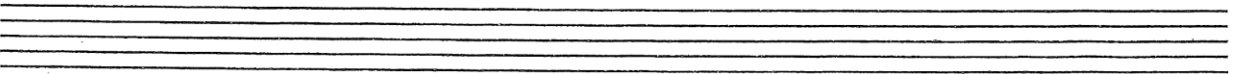
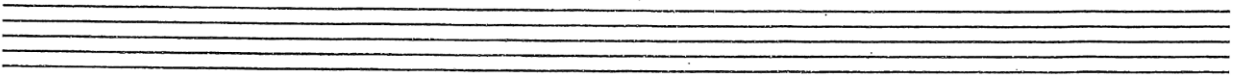
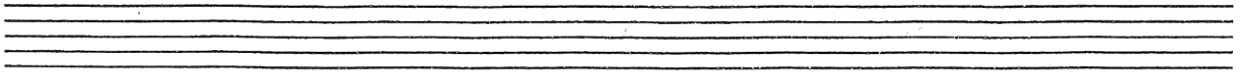
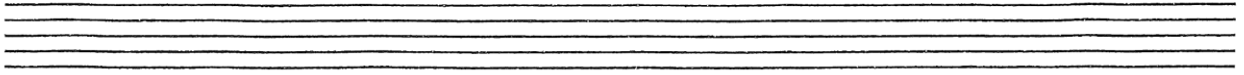
⑦

⑧

⑨

(3)

(4)



II.(1)①

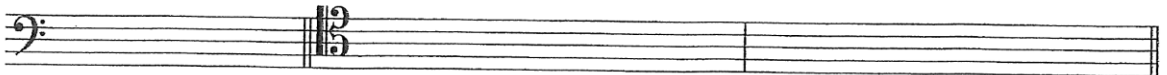
②

③

④

(2)a. b. c. d. e. f.

(3)



(4)㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

旋律聴音



第二次試験

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[作曲, 指揮, ピアノ]

$\text{♩} = 40$

Measures 1-4 of a piano accompaniment in G major (one sharp). The tempo is marked as quarter note = 40. The music consists of chords and single notes in both staves.

5

Measures 5-8 of the piano accompaniment. Measure 8 ends with a double bar line and a repeat sign.

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

和声聴音[弦楽, 管・打, 声楽, 音楽学]

$\text{♩} = 40$

Measures 1-4 of a piano accompaniment in G major (one sharp). The tempo is marked as quarter note = 40. The music consists of chords and single notes in both staves.

5

Measures 5-8 of the piano accompaniment. Measure 8 ends with a double bar line and a repeat sign.

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

新曲視唱

Moderato

mf

4

f mp mf

6

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

コールユーブンゲン視唱

No. 63

The musical score for No. 63 is written on three staves. The key signature is G major (one sharp, F#) and the time signature is common time (C). The music is composed of eighth and quarter notes, with various rests and phrasing slurs. The first staff begins with a quarter rest, followed by a series of eighth and quarter notes. The second staff continues the melody with similar rhythmic patterns. The third staff concludes the piece with a final quarter note and a whole rest.

平成 29 年度 京都市立芸術大学音楽学部入学試験

ピアノ新曲視奏 Allegro Moderato

Piano

The musical score is written for piano and consists of four systems of music. The key signature is B-flat major (two flats) and the time signature is 2/4. The tempo is marked Allegro Moderato. The piece begins with a piano (pp) dynamic. The first system (measures 1-4) shows a steady eighth-note accompaniment in the left hand and a melodic line in the right hand. The second system (measures 5-8) continues with a mezzo-piano (mp) dynamic. The third system (measures 9-12) features a mezzo-forte (mf) dynamic. The fourth system (measures 13-16) concludes with a forte (f) dynamic. The score includes various musical notations such as slurs, accents, and dynamic markings.

第二次試験

19

pp

23

ff

各専攻副科ピアノ課題曲

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 1 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を当日指定する。
速度は♩ = 76 M. M. 以上。
ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ヘ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調
(注) ハノン第 39 番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。
- 2 (A) J. S. Bach：平均律ピアノ曲集 第 2 巻より 前奏曲とフーガ 第 15 番 ト長調 BWV884 (前奏曲については繰り返しをしないこと。)
(B) J. S. Bach：2 声のインヴェンション BWV772 ～ 786 より 1 曲又はシンフォニア (3 声のインヴェンション) BWV787 ～ 801 より 1 曲を自由選択
ただし、インヴェンション第 10 番ト長調、シンフォニア第 5 番変ホ長調、シンフォニア第 6 番ホ長調を除く。
(C) B. Bartók：ミクロコスモスより 第 2 巻 第 59 番 長調と短調
(注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) の中から 1 つを選択し、演奏すること。
※弦楽、管・打楽、声楽及び音楽学専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は (A) (B) (C) の中から 1 つを選択し、演奏すること。
※全て暗譜で演奏すること。(繰り返しはしない。)

2017 年 4 月

京都市立芸術大学 事務局 入試担当

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

Tel 075-334-2238

Fax 075-334-2281

<http://www.kcua.ac.jp>